

収れん火災にご注意ください！

凹面鏡や虫眼鏡などにより、太陽の光が一点に集まって発生する火災を「収れん火災」といいます。

箕面市内の住宅で、火災にはなりませんでしたが、収れんによって家具の一部が黒く変色する事案が発生しました。

冬場は太陽高度が低く、部屋の奥まで太陽の光が届くので、収れんが発生しやすくなります。

凹面鏡など光を集める性質のあるものの取扱いには、十分注意していただくようお願いいたします。

収れん火災の原因となるもの

- ・凹面鏡
- ・文字を拡大するルーペ
- ・ガラス製の花瓶
- ・水晶玉
- ・水の入ったペットボトル
- ・窓に貼り付けた透明な吸着盤など

凹面鏡



ルーペ



水の入ったペットボトル



火災予防対策

- ・太陽の光が当たる場所に収れん火災の原因となるものを置かないようにしましょう。
- ・カーテンなどで太陽の光を遮るようにしましょう。